

平成26年度第1回^{もり}森林の未来を考える懇談会資料

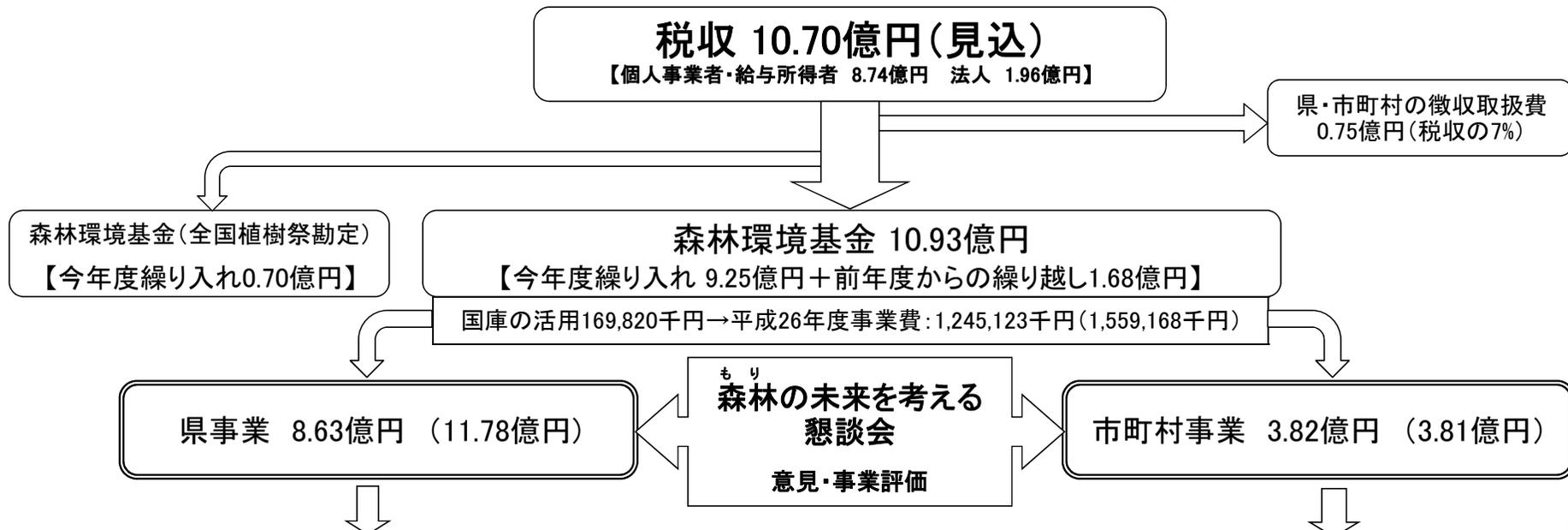
平成26年度 森林環境基金事業の実施について

- 平成26年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)
- 平成26年度(当初予算)森林環境基金充当事業一覧表
- 平成26年度森林環境基金事業の概要(当初予算)
 - 1 森林環境情報発信事業
 - 2 ^{もり}森林づくり県民運動推進事業
 - 3 森林文化の活用による地域再生プロジェクト
 - 4 森と住まいのエコポイント事業
 - 5 ふくしま木の家・担い手応援事業

平成26年 8月 5日

福島県 農林水産部 森林計画課

平成26年度森林環境基金事業の枠組(当初予算)



【単位:千円】

森林環境を保全するための事業		もり 森林づくりの意識を醸成するための事業		森林環境を保全するための事業		もり 森林づくりの意識を醸成するための事業	
796,935 (1,126,330)		66,517 (52,054)		186,861 (185,376)		194,810 (195,408)	
森林環境の適正な保全 651,861 (724,769) ・水源かん養など機能の低下が懸念される森林整備等 ・森林GISの整備による森林情報の高度化、共有化 ・施業集約化を促進するための支援		県民参画の推進 38,576 (38,848) ・森林環境学習に必要なフィールドの整備、指導者の養成 ・森林ボランティアの養成、森林ボランティアサポートセンターの運営等 ・県立学校における森林環境学習等 ・森林環境情報の発信や森林づくり県民運動の浸透・拡大 ・森林づくり県民運動推進事業 ・全国植樹祭準備事業		森林環境交付金事業【地域提案重点枠】 87,861 (86,376) ・市町村独自の優れた提案事業に重点的に取り組む財源(事業の対象分野) ア 県産材の利活用推進 イ 木質バイオマスの利活用推進 ウ その他		森林環境交付金事業【森林環境基本枠】 194,810 (195,408) ・全ての市町村が継続的に森林づくりに取り組む財源(事業の対象分野) ア 県民参画の推進 イ 森林の適正管理推進 ウ 森林環境学習の推進 エ 森林整備の推進	
森林資源の活用による持続可能な社会づくり 145,074 (401,561) ・間伐材の搬出・運搬支援 ・森林整備を促進するための路網整備 ・木質バイオマス利用促進 ・CO2削減と風評払拭に向けた県産材の普及PR ・需要拡大に向けた県産材の活用促進支援		ふくしまの森林文化の継承 20,596 (8,154) ・県内の森林文化の調査、継承に向けた公開体験等 ・森林文化を活用した地域再生		99,000 (99,000) ・森林整備促進事業 ・間伐材の搬出・運搬支援			
		森林環境の調査 4,200 (3,528) ・森林整備による公益的機能や木材利用による効果等の調査研究					
		森林環境基金の運営 3,145 (1,524) ・森林環境基金事業の県民への広報・公聴、懇談会の開催等					

()は平成25年度当初予算

平成26年度(当初予算)森林環境基金事業一覧表
(事業区分別)

平成26年8月5日 森林計画課
単位:千円

事業名	担当課(室)	H26年度当初予算			H25年度当初予算			増減			基金繰入 対前年比 (a)/(b)	備考
		計	財源内訳		計	財源内訳		計	財源内訳			
			基金繰入金(a)	国庫等		基金繰入金(b)	国庫等		基金繰入金	国庫等		
森林環境の適正な保全		744,861	575,041	169,820	817,769	637,089	180,680	△ 72,908	△ 62,048	△ 10,860	90.3%	
森林整備事業(森林整備促進事業含む)	森林整備課	707,081	556,551	150,530	746,538	596,008	150,530	△ 39,457	△ 39,457	0	93.4%	
森林整備地域活動支援交付金事業	森林計画課	28,935	9,645	19,290	45,225	15,075	30,150	△ 16,290	△ 5,430	△ 10,860	64.0%	
森林環境適正管理事業	森林計画課	5,953	5,953		23,256	23,256		△ 17,303	△ 17,303		25.6%	
花粉の少ない森林づくり事業	森林整備課	2,892	2,892		2,750	2,750		142	142		105.2%	
森林資源の活用による持続可能な社会づくり		151,074	151,074	0	407,561	193,881	213,680	△ 256,487	△ 42,807	△ 213,680	77.9%	
間伐材搬出支援事業		69,200	69,200		112,500	112,500		△ 43,300	△ 43,300		61.5%	
間伐材運搬経費支援事業	林業振興課	7,000	7,000		12,500	12,500		△ 5,500	△ 5,500		56.0%	
林内作業路整備支援事業	森林整備課	25,000	25,000		25,000	25,000		0	0		100.0%	
間伐材二酸化炭素削減支援事業	林業振興課	37,200	37,200		75,000	75,000		△ 37,800	△ 37,800		49.6%	
森林整備促進路網整備事業	森林整備課	37,500	37,500		37,500	37,500		0	0		100.0%	
ふくしまの低炭素社会づくり推進事業		30,462	30,462		243,641	29,961	213,680	△ 213,179	501	△ 213,680	101.7%	
カーボン・オフセット森森(もりもり)元気事業	森林保全課	304	304		304	304		0	0		100.0%	
緑の住宅普及支援事業	林業振興課	2,658	2,658		4,657	4,657		△ 1,999	△ 1,999		57.1%	
【新】ふくしま木の家・担い手応援事業	建築指導課	2,500	2,500		0	0		2,500	2,500		皆増	
森と住まいのエコポイント事業	建築指導課	25,000	25,000		238,680	25,000	213,680	△ 213,680	0	△ 213,680	100.0%	
もっともっとうみづかい推進事業	林業振興課	13,912	13,912		13,920	13,920		△ 8	△ 8		99.9%	
市町村が行う森林づくり等の推進		282,671	282,671	0	281,784	281,784	0	887	887	0	100.3%	
森林環境交付金事業		282,671	282,671		281,784	281,784		887	887		100.3%	
森林環境基本枠	森林計画課	194,810	194,810		195,408	195,408		△ 598	△ 598		99.7%	
地域提案重点枠	森林計画課	87,861	87,861		86,376	86,376		1,485	1,485		101.7%	
県民参画の推進		38,576	38,568	8	38,848	38,840	8	△ 272	△ 272	0	99.3%	
林業普及推進事業	林業振興課	400	400		400	400		0	0		100.0%	
森林環境学習の森整備事業	森林保全課	11,414	11,414		15,940	15,940		△ 4,526	△ 4,526		71.6%	
森林ボランティア総合対策事業	森林保全課	9,259	9,259		9,189	9,189		70	70		100.8%	
森林づくり指導者育成事業		2,300	2,300		2,789	2,789		△ 489	△ 489		82.5%	
第3期もりの案内人養成事業	森林保全課	1,923	1,923		1,923	1,923		0	0		100.0%	
森林環境学習指導者育成事業	森林保全課	377	377		377	377		0	0		100.0%	
地球と森林を守る指導者養成事業	環境共生課	0	0		489	489		△ 489	△ 489		皆減	
県立学校における森林自然学習支援事業	高校教育課	2,364	2,364		2,167	2,167		197	197		109.1%	
ふくしまから はじめよう。森林とのきずな事業		9,868	9,860	8	8,363	8,355	8	1,505	1,505	0	118.0%	
森林環境情報発信事業	森林計画課	7,225	7,217	8	7,326	7,318	8	△ 101	△ 101	0	98.6%	
森林づくり活動推進事業	森林保全課	0	0		1,037	1,037		△ 1,037	△ 1,037		皆減	
【新】森林づくり県民運動推進事業	森林保全課	2,643	2,643		0	0		2,643	2,643		皆増	
全国植樹祭準備事業	森林保全課	2,971	2,971		0	0		2,971	2,971		皆増	
ふくしまの森林文化の継承		20,596	20,596	0	8,154	8,154	0	12,442	12,442	0	252.6%	
ふくしまの森林文化継承事業		8,556	8,556		8,154	8,154		402	402		104.9%	
ふくしまの森林文化継承事業	森林計画課	5,810	5,810		5,326	5,326		484	484		109.1%	
木(森)に由来する伝統文化継承事業	林業振興課	2,746	2,746		2,828	2,828		△ 82	△ 82		97.1%	
【新】森林文化の活用による地域再生プロジェクト	文化振興課	12,040	12,040		0	0		12,040	12,040		皆増	
森林環境の調査		4,200	4,200	0	3,528	3,528	0	672	672	0	119.0%	
猪苗代湖水環境保全対策調査事業	水・大気環境課	4,200	4,200		3,528	3,528		672	672		119.0%	
森林環境基金の運営		3,145	3,145	0	1,524	1,524	0	1,621	1,621	0	206.4%	
森林環境基金運営事業		3,145	3,145		1,524	1,524		1,621	1,621		206.4%	
森林の未来を考える懇談会運営事業	森林計画課	1,102	1,102		1,066	1,066		36	36		103.4%	
森林環境税関連施策検討事業	森林計画課	0	0		458	458		△ 458	△ 458		皆減	
【新】森林環境基金事業に対する県民の声を聴く事業	森林計画課	2,043	2,043		0	0		2,043	2,043		皆増	
合計		1,245,123	1,075,295	169,828	1,559,168	1,164,800	394,368	△ 314,045	△ 89,505	△ 224,540	92.3%	
森林環境基金		995,127	995,127		992,073	992,073		3,054	3,054		100.3%	
森林環境基金	森林計画課	925,127	925,127		992,073	992,073		△ 66,946	△ 66,946		93.3%	一般財源
【新】森林環境基金(全国植樹祭勘定)	森林計画課	70,000	70,000		0	0		70,000	70,000		皆増	一般財源

平成26年度森林環境基金事業の概要(当初予算)

平成26年8月5日 森林計画課

(1) 森林環境の適正な保全

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
1	森林整備事業	飲料水の「水源区域」及び水源かん養機能又は山地災害防止機能を重視する区域内で行う森林整備を支援する。 ・森林整備事業 485,543千円 間伐1,400ha ・森林整備促進事業 221,538千円 間伐700ha 再造林50ha	(707,081) 556,551	(746,538) 596,008	(△ 39,457) △ 39,457
2	森林整備地域活動支援交付金事業	森林の適切な整備を通じて、森林の有する多面的機能の継続的な発揮を図るとともに、森林施業・経営の集約化を図る観点から、主として林業事業者や森林所有者が森林経営計画の作成を行うために必要な活動を支援する措置として、市町村へ森林整備地域活動支援交付金を交付する。 ・森林整備地域活動支援交付金事業 3,670ha 28,935千円	(28,935) 9,645	(45,225) 15,075	(△ 16,290) △ 5,430
3	森林環境適正管理事業	情報の共有化や業務の効率化を図るため、森林情報を電子データ化した各種図面上で管理することを可能にした福島県森林GISの活用を図るとともに、県民向けの森林情報発信を継続する。 ・森林情報(GIS)活用推進事業 5,953千円	5,953	23,256	△ 17,303
4	花粉の少ない森林づくり事業	森林環境に配慮した再造林による森林の若返りを図るため、花粉症対策品種苗木を養成するとともに、採種・採穂園の整備により造林地へ花粉症対策苗木の供給を行う。 ・花粉の少ない森林づくり推進事業 1,072千円 ・花粉の少ない苗木づくり促進事業 1,820千円	2,892	2,750	142
計			(744,861) 575,041	(817,769) 637,089	(△ 72,908) △ 62,048

※上段()は、国庫を含む事業費

(2) 森林資源の活用による持続可能な社会づくり

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
5	間伐材搬出支援事業	間伐材の利用促進を図るため、間伐材の搬出に必要な作業路の整備に要する経費及び原木市場等への間伐材の運搬経費を支援する。 ・間伐材運搬経費支援事業 7,000千円 事業量 14,000m ³ 、補助金 500円/m ³ ・林内作業路整備支援事業 25,000千円 事業量 50,000m、補助金 500円/m ・間伐材二酸化炭素削減支援事業 37,200千円 事業量 24,800m ³ 、補助金 1,500円/m ³	69,200	112,500	△ 43,300
6	森林整備促進路網整備事業	水源区域など重要な森林の継続的な森林整備と木材の搬出を促進するため耐久性のある作業道の整備を支援する。 ・森林整備促進路網整備事業 37,500千円 事業量9,950m 補助金4,200円/m以内	37,500	37,500	0
7	ふくしま低炭素社会づくり推進事業	二酸化炭素など温室効果ガスを削減し地球温暖化防止に資するため、県民や関係者が一体となって行う森林整備やオフセット・クレジットの取組を推進するとともに、固定された炭素を貯蔵している木材を住宅等に利用することにより、低炭素社会の形成を進める。 ・カーボン・オフセット森森(もりもり)元気事業 304千円 ・緑の住宅普及促進事業 2,658千円 ・ふくしま木の家・担い手応援事業 2,500千円 ・森と住まいのエコポイント事業 25,000千円	30,462	(243,641) 29,961	(△ 213,179) 501
8	もっともつと木づかい推進事業	公共的施設の木質化や学校教育現場における木育活動の推進等による県民の木材利用に対する意識を醸成するとともに、民間施設における県産材利用やバイオマスエネルギー利用機器の普及を図る。 ・木景観形成促進事業 4,059千円 ・新「ほっと」スペース創出事業 3,500千円 ・木とのふれあい創出事業 3,066千円 ・バイオマス暖房でCO ₂ ダイエツト事業 3,287千円	13,912	13,920	△ 8
計			151,074	(407,561) 193,881	(△ 256,487) △ 42,807

※上段()は、国庫を含む事業費

(3) 市町村が行う森林づくり等の推進

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
9	森林環境交付金事業	県民一人一人が参画する新たな森林づくりを効果的に進めるため、市町村が独自性を発揮して創意工夫を凝らした事業を展開することができるよう、森林環境基金の一部を交付する。 ・森林環境基本枠 194,810千円 ・地域提案重点枠 87,861千円	282,671	281,784	887
計			282,671	281,784	887

(4) 県民参画の推進

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
10	担い手緑化推進事業 (林業普及推進事業費)	森林・林業・木材産業の果たす役割や県民参画による森林づくりを推進するために開催している林業祭において、森林・林業・木材産業のPRを行い理解促進を図る。 ・普及推進事業 400千円	400	400	0
11	森林環境学習の森整備事業	全ての県民が森林環境税の重要性や林業の役割についての学習等の場並びに森林とのふれあいの場として容易に利用できるフィールドの整備を行う。 ・県有林フィールド整備事業 2,672千円 ・歩道バリアフリー化事業 8,742千円	11,414	15,940	△ 4,526
12	森林ボランティア総合対策事業	森林づくり活動の広報、森林ボランティアに関する情報収集・提供、相談窓口業務等を行う森林ボランティアサポートセンターを設置するとともに、県内各地域で積極的に森林整備活動を行う森林ボランティア団体の活動支援や人材の育成を行う。 ・森林ボランティア活動推進事業 3,150千円 ・森林ボランティアサポート事業 6,109千円	9,259	9,189	70
13	森林づくり指導者育成事業	森林の役割や重要性を県民に広く伝えるための指導者「もりの案内人」を養成するため、審査委員会や養成講座を開催するとともに、森林環境学習の指導者を育成するため専門的技術を習得するための研修会を開催する。 ・第3期もりの案内人養成事業 1,923千円 ・森林環境学習指導者育成事業 377千円	2,300	2,789	△ 489
14	県立学校における森林自然学習支援事業	県立学校が行う森林の環境に関する学習、森林の管理に関する学習、森林資源の利用に関する学習、地域における森林の役割に関する学習及び森林に関わる職業に関する学習に対する活動経費を支援する。	2,364	2,167	197
15	ふくしまからはじめよう。 森林とのきずな事業	震災や原子力災害発生以降の森林の現状に対する理解を深めつつ、県民運動の浸透や拡大を図るため、森林環境に関する情報発信と県民運動としての森林づくり活動の推進を図る。 ・森林環境情報発信事業 7,225千円 ・森林づくり県民運動推進事業 2,643千円	9,868	(8,363)	(1,505)
16	全国植樹祭準備事業	平成30年全国植樹祭の招致に向け、「全国植樹祭福島県準備委員会」を開催するとともに、基本構想の策定や開催テーマの募集、調査等を行う。	2,971	0	2,971
計			(38,576)	(38,848)	(△ 272)
			38,568	38,840	△ 272

※上段()は、その他の財源を含む事業費

(5) ふくしまの森林文化の継承

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
17	ふくしまの森林文化継承事業	ふくしまの森林文化を改めて見直し、現代生活に活かしていくため、地域に根ざした森林文化について調査し、県民に分かりやすい形で広報するとともに、一般県民の体験等に対する支援を行う。 ・ふくしまの森林文化継承事業 5,810千円 ・木(森)に由来する伝統文化継承事業 2,746千円	8,556	8,154	402
18	森林文化の活用による地域再生プロジェクト	森林に目を向け学ぶことで、その価値を見直し森林文化の振興を図るとともに、持続的な循環という大切なメッセージの発信することで森林に対するマイナスイメージを払拭していくため、アートから福島の再生と未来を考える場を創出する。	12,040	0	12,040
計			20,596	8,154	12,442

(6) 森林環境の調査

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
19	猪苗代湖水環境保全対策調査事業	紺碧の猪苗代湖を復活させ、水辺環境保全に向けた活動を県民が一丸となって積極的に推進していくことを目的として、大腸菌群数超過対策のための調査や、農地・山林からの排出負荷実態調査などを実施し、猪苗代湖の水質改善に向けた検討を行う。	4,200	3,528	672
計			4,200	3,528	672

(7) 森林環境基金の運営

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
20	森林環境基金運営事業	森林環境基金の適正な執行と透明性を確保するため、公募委員等からなる「森林の未来を考える懇談会」を開催する外、森林環境基金事業に対する県民の声を聞くため、県民アンケートやタウンミーティングなどを行う。 ・森林の未来を考える懇談会運営事業 1,102千円 ・森林環境基金事業に対する県民の声を聞く事業 2,043千円	3,145	1,524	1,621
計			3,145	1,524	1,621

森林環境基金事業合計

(単位:千円)

NO	事業名	事業の概要	26当初予算	25当初予算	増減
(1)～(7)の合計			(1,245,123)	(1,559,168)	(△ 314,045)
			1,075,295	1,164,800	△ 89,505

○森林環境情報発信事業について

【背景】

- ・森林の復旧・復興には、行政だけでなく県民やNPO、企業と一体となった取組が必要。
- ・森林の現状についての理解深化を図り、森林づくりへの県民参画を再活性化させていく。
- ・平成25年12月20日の「森林づくり活動推進についての提言」(森林づくり検討委員会)でも、森林づくり活動を県民総参加による取組として展開する方策の1つとして、「総合的な森林づくり情報の発信」の実施が求められた。

【取組状況】

- ・震災以降の森林についての理解深化と森林づくり意識の醸成のため、平成25年度より「森林とのきずな再生事業」で、森林環境情報の発信に取り組んでいる。
- ・平成26年度は、全庁的な「ふくしまから はじめよう。情報発信戦略」の中に位置付けた。

「ふくしまから はじめよう。情報発信戦略」(広報課)

【目的】

ふくしまの情報を効果的に発信し、
前向きなふくしまのイメージを創り上げていく。

【具体的な取組】

- ・見える化や体系化による「伝わる」情報発信
- ・「ふくしまから はじめよう。」の浸透
- ・ロゴマークやキャラクターの活用
- ・各部局間の連携と統一感の強化 など



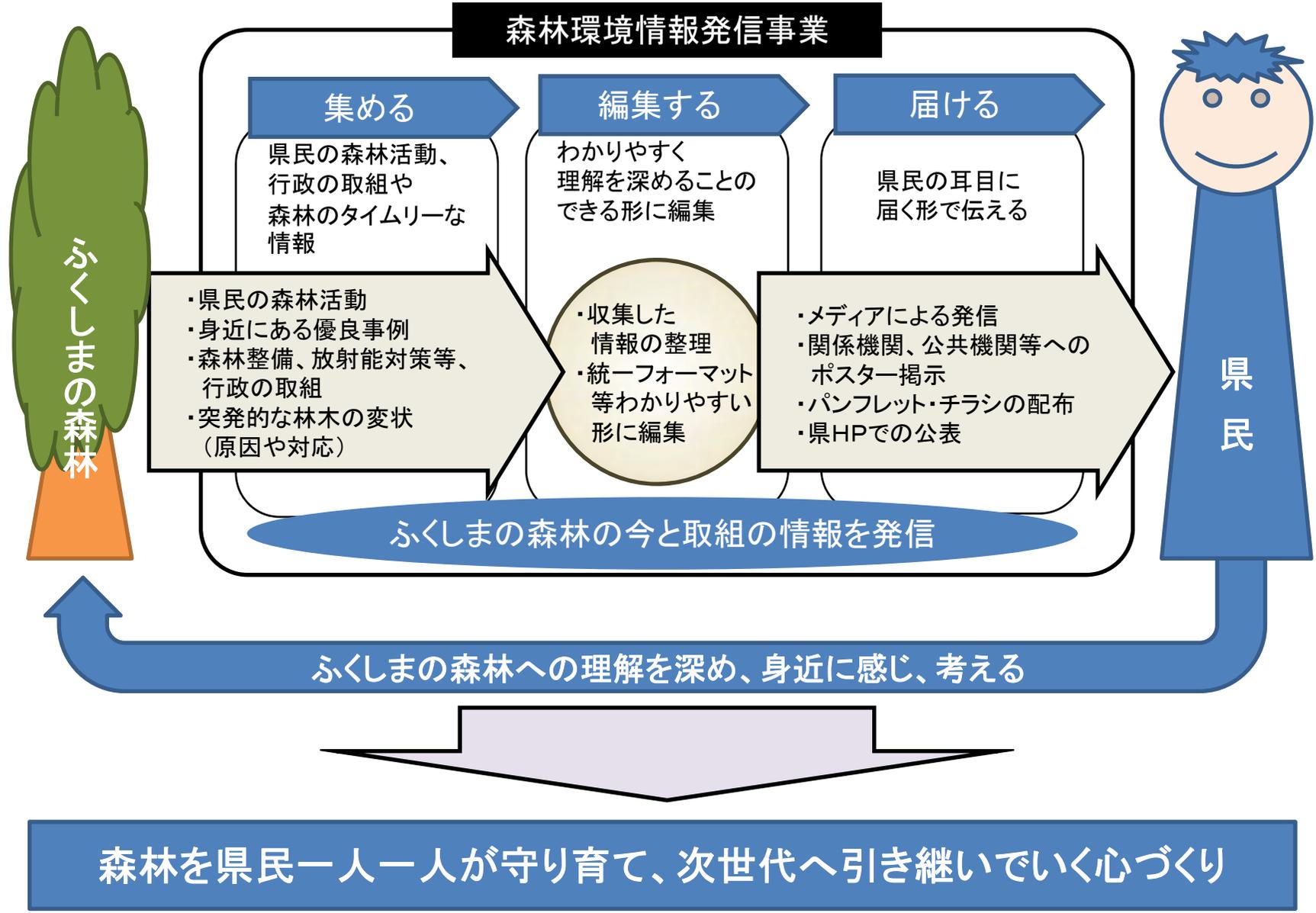
「ふくしまから
はじめよう。」
ロゴマーク



「ふくしまから
はじめよう。キビタン」

森林環境情報発信の仕組み

(3 - 6)



平成26年度森林環境情報発信事業の取組状況

- ・ふくしまの森林の今と取組の状況を発信。
- ・電子媒体、メディア、パンフレットやポスター等を活用し、同時集的な発信を行うことで、より多くの県民への到達を図る。

	H26 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27 1月	2月	3月		
電子媒体	森林環境税を活用した取組をホームページに随時掲載しお知らせ													
		森林環境税HP リニューアル		農林水産部メールマガジン、県公式twitter等によるPR										
メディア活用				県テレビ・ラジオ スポットCM (民放テレビ4局、 ラジオ2局) 7/1~7/31(完了)	県政特集 (民報・民友) 8/24	県政ラジオ 「キビタンスマイル」 9月上旬	第3四半期以降も継続							
「豊かな森林を未来の子どもたちへ」	〇パンフレット配布		東北6県郵便局90局 復興応援コーナー(うち県内21局)9,000部 6/2~											
	ヨークベニマル 門田店 (会津若松市) 50部 4/1~4/30(完了)		日本陸上 選手権大会 (福島市) 600部 6/6~6/8(完了)	福島ユナイテッドFC サポーターティングマッチ (会津若松市) 200部 7/20(完了)	ヨークベニマル浜田店(福島市) 50部 8/1~9/30	東邦銀行98店(うち県外8店) 1,200部 8/1~9/30								
	福島ユナイテッドFC県外試合会場 1,000部(完了)		福島ユナイテッドFC県外試合会場 1,000部											
	〇ポスター掲示		イトーヨーカドー 平店 (いわき市) 100部 9/16~9/30										第3四半期以降も継続	
	ヨークベニマル 野田店 (福島市) 4/1~4/30(完了)		イトーヨーカドー 福島店 (福島市) 6/1~6/30(完了)			イトーヨーカドー 福島店 (福島市) 9/1~9/30	イトーヨーカドー 福島店 (福島市) 9/1~9/30							
その他	県政広報誌 「ゆめだより」 PR記事掲載 (県内全戸配布) 4月号(完了)	県庁内 PRパネル展示 5/26~6/6 (完了)	福島ユナイテッドFC サポーターティングマッチ 場内アナウンスPR (会津若松市) 7/20(完了)	県庁内 PRパネル展示 8/25~9/5	第3四半期以降も継続									

ふくしまの森林について理解を深め、身近に感じてもらうため、引き続き森林環境情報を発信

もり 森林づくり県民運動推進事業

森林保全課

- ・福島県の森林の現況に対する理解を深め、もり森林づくり活動の意識醸成を図る
- ・県民参加のもり森林づくりが、本県の復興・発展を加速する原動力となるよう、県民運動として展開していく
- ・復興に取り組む県民の心の支えとしてのシンボルイベントとなるよう、全国植樹祭招致への気運を高める

森林環境税の活用

もり ○森林づくり活動ワークショップ

地域住民や森林ボランティア等を対象としたワークショップ

- ・地域における森林づくりの現状と課題を確認
- ・地域の森林文化に根ざした多様な森林づくりを展開

もり
森林づくりを震災復興の活力となる
県民運動に展開

もり
森林づくり意識の醸成と
全国植樹祭への機運の高まり

平成30年
全国植樹祭

基本的な
理念が
継承され、
次世代への
もり
森林づくりが
定着し発展
していく

○全国植樹祭イベント

他部局と連携を図りながらイベントとして実施し県民意識を醸成

4年前
・招致に向けた
意識醸成
・ミニ植樹祭や
苗木づくりなど

3年前
・テーマや実施
地域に即した
植樹・育樹体験

2年前
・県民が参加
する植樹祭用
記念苗木の育成

1年前
・プレ植樹祭
・カウントダウン
セレモニー
・全国へのPR活動



- ・当面5年間のもり森林づくり活動の目標
- ・復興に取り組む県民の心の支え
- ・全国からの復興支援への感謝の気持ちを広く発信
- ・県民一人一人が参画するもり森林づくり活動をさらに推進

全国からの支援等

震災と
原子力災害の
影響により
もり
森林づくり活動
が低迷

森林づくり県民運動推進事業について

森林保全課

1 事業の概要

県民参加の森林づくりを県民運動として展開するため、地域における森林づくり活動の意識醸成を図るためにワークショップやプレイベント等を開催し、復興に取り組む県民の心の支えとなるようなシンボルイベントとして全国植樹祭を、福島県の特徴を活かした独自の方法で開催できるよう準備を進めていく。

2 実施状況

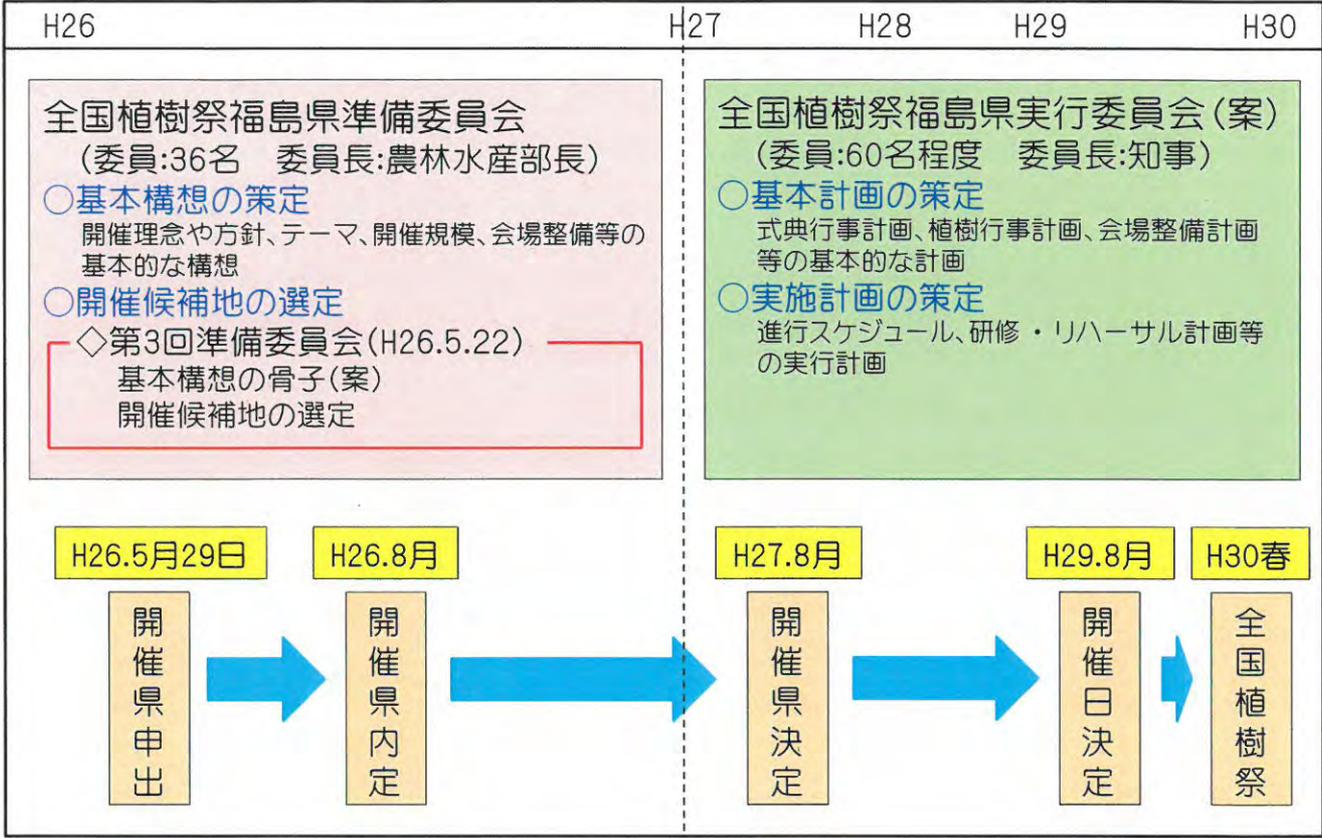
- (1) 全国植樹祭第3回福島県準備委員会（平成26年5月22日開催）
 - 基本構想の骨子（案）を提示、承認
 - 開催候補地を「南相馬市の海岸防災林」とすることで承認
- (2) 開催県の申出（平成26年5月29日）
（公社）国土緑化推進機構へ平成30年第69回全国植樹祭開催県申出

3 今後の予定

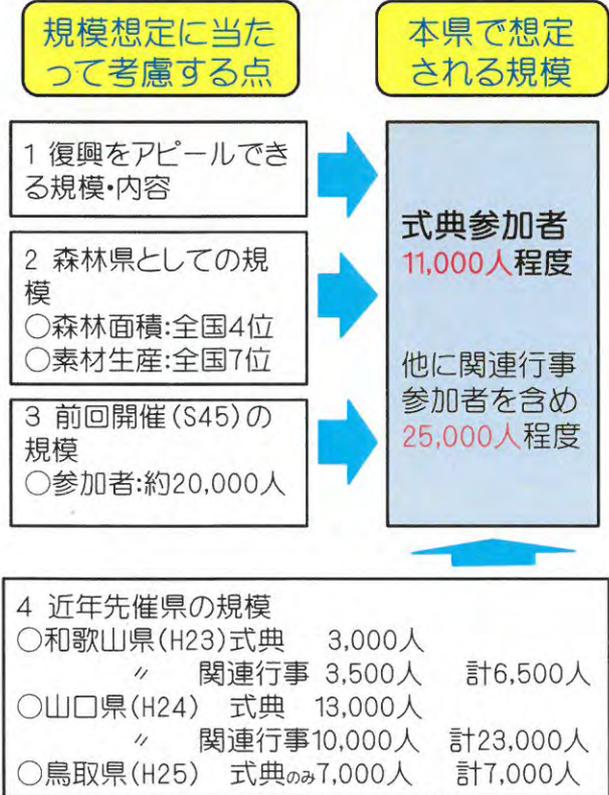
- (1) 全国植樹祭福島県準備委員会
（第4回平成26年10月・第5回平成27年2月開催予定）
基本構想の策定
（サテライト会場の検討等を含む）
- (2) 国土緑化推進機構による開催県の内定（平成26年8月）
開催県の内定が同機構の理事会後公表される予定、県においても同日プレスリリース
- (3) 全国植樹祭プレイベント等の開催
平成30年の全国植樹祭本県開催内定をPRし、開催気運の高揚や参加の促進を図る。
 - ① 全国植樹祭プレイベントとして育樹活動、植樹活動を実施する予定。
 - 第12回うつくしま育樹祭
 - ② 下記イベントにおいて全国植樹祭PRを実施する予定。
 - 「おいしいふくしまいただきます」フェスティバル
 - 第44回全国オートキャンプ大会
 - 第68回全国レクリエーション大会
 - 林業祭
 - ③ 森林づくり活動ワークショップ
 - 地域における森林づくりの現状と課題を確認し、地域の森林文化に根ざした多様な森林づくりを展開するため、地域住民や森林ボランティア等を対象としたワークショップを開催する。

全国植樹祭開催までの取り組み

平成26年7月 18日
森林保全課



開催規模



開催候補地

南相馬市の海岸防災林



海岸防災林での植樹の例

- < 選定条件 >
- (1)復興に向けて県民が力強く歩み続ける姿と国内外からの支援への感謝の気持ちを発信できる会場
 - (2)森林の再生を進めるシンボルとなる会場
 - (3)植樹場所確保と土地利用の制約がない
 - (4)その他
会場面積と駐車場の確保、会場へのアクセスが容易、荒天会場の確保、緊急時の対応等

全国植樹祭プレイベントの開催

うつくしま育樹祭



第12回 うつくしま育樹祭

うつくしま育樹祭は平成13年から開催し、県民一人ひとりに緑の大切さを再認識し森林に親しむことで「心にやすらぎ」や「心の拠り所」としての緑を感じ、うつくしい故郷「ふくしま」を一日も早く取り戻すために実施しています。

本年度は、全国植樹祭のプレイベントとして、育樹活動、植樹活動を秋に実施する予定です。

森林づくり県民運動への展開



苗木づくりのイメージ



植樹活動のイメージ

- 平成25年
- 招致に向けた意識醸成
 - うつくしま育樹祭でのPR

- 平成26年
- うつくしま育樹祭
 - どんぐりのホームステイ・スクールステイ

- 平成27年
- うつくしま育樹祭
 - どんぐりのホームステイ・スクールステイ

- 平成28年
- 写真コンクール
 - 苗木のホームステイ
 - リレー植樹
 - 県産品のPRとの連携
 - うつくしま育樹祭

- 平成29年
- カウントダウンセレモニー
 - 全国植樹祭会場ウォークラリー
 - 開催地周辺の育樹活動
 - プランター（会場に設置）のスクールステイ・ホームステイ
 - うつくしま育樹祭

アートによる新生ふくしま推進事業

文化振興課

森のはこ舟アートプロジェクト
(森林文化の活用による地域再生プロジェクト)

○なぜ森林文化なのか？



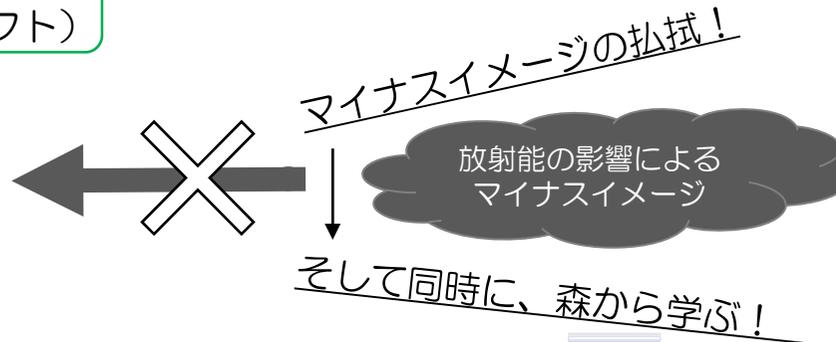
福島のイメージ = 豊かな自然 (豊かな森林)

福島の象徴とも言える

たくさんの文化が生まれてきた源 福島の誇り高き大切な資源

次世代に継承すべき大切な財産

- 多様な自然環境に恵まれた福島県は、各方部で特色ある森林環境を有しており、森林が福島を形作っていると言える。
- 自然観、食文化、信仰、民俗など、たくさんの文化が生まれてきた。
- 森林は福島県民の生活に寄り添う身近な存在であり、次世代に継承すべき大切な財産である。



森林文化の発信=福島再生の発信

(その手法として)



アート (芸術文化) を介して森林文化を発信

全国へ発信する福島の再生と未来への提言

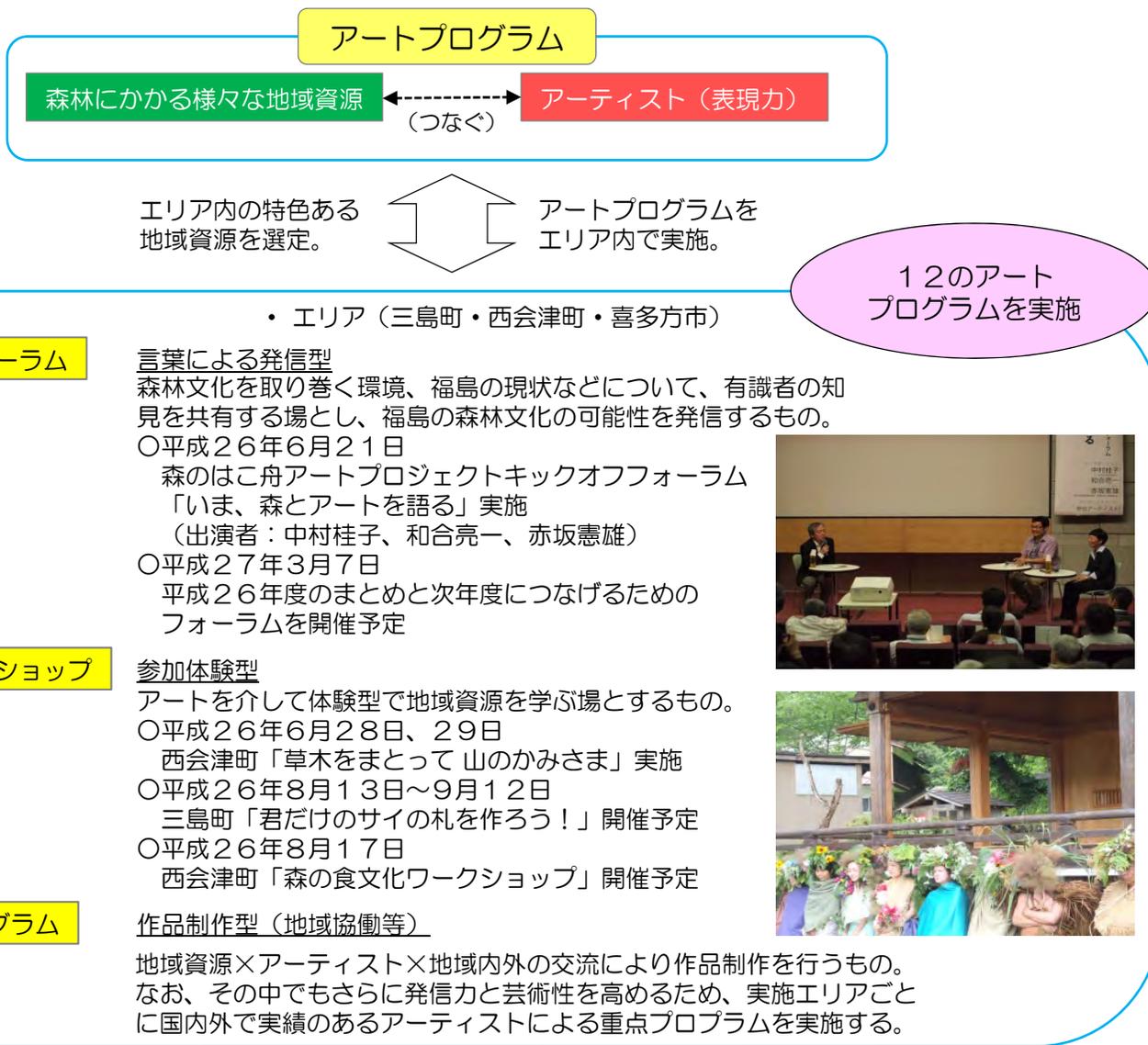
- 価値の見直しによる新たな価値の創出と提案
- 持続的な循環という大切なメッセージの発信

未来に向けた福島の創造的な復興を促進

アートを活用することで生まれる様々な創造的な取組みは、福島のイメージを変え、福島の復興を促進する。

○ 具体的な取組みのイメージ図

アート（芸術文化）を介して森林文化を発信する方法として、森林文化をテーマとした様々なアートプログラムをアーティストと共に企画実施する。



地域の活性化

プロセスの中で様々な効果

- ・ 地域の誇り
- ・ 新たな発信
- ・ 学びの場
- ・ 地域の文化発信
- ・ 地域資源を発信
- ・ 交流人口の増加

文化振興課

サイの札(三島町)



喜多方市の棚田



森の食文化(西会津町)



ロゴマーク



森のはこ舟
アートプロジェクト2014

『 森と住まいのエコポイント事業 』

～ふくしまの木をつかった家づくりを支援します～

取組みの目的

県産木材を使用した住まいづくりを支援し、森林環境の保全と再生、地域住宅産業の活性化、被災者等の住宅再建を促進するとともに、県産品の更なる需要を喚起し、本県の復興と活性化を進めます。

取組みの内容

県内の住宅生産事業者が、県産木材を使用して住宅の新築・増改築・購入を行った場合、建築主に対して、県産の農林水産品等と交換可能なポイントを交付します。

< 交付対象となる住宅のイメージの一例 >

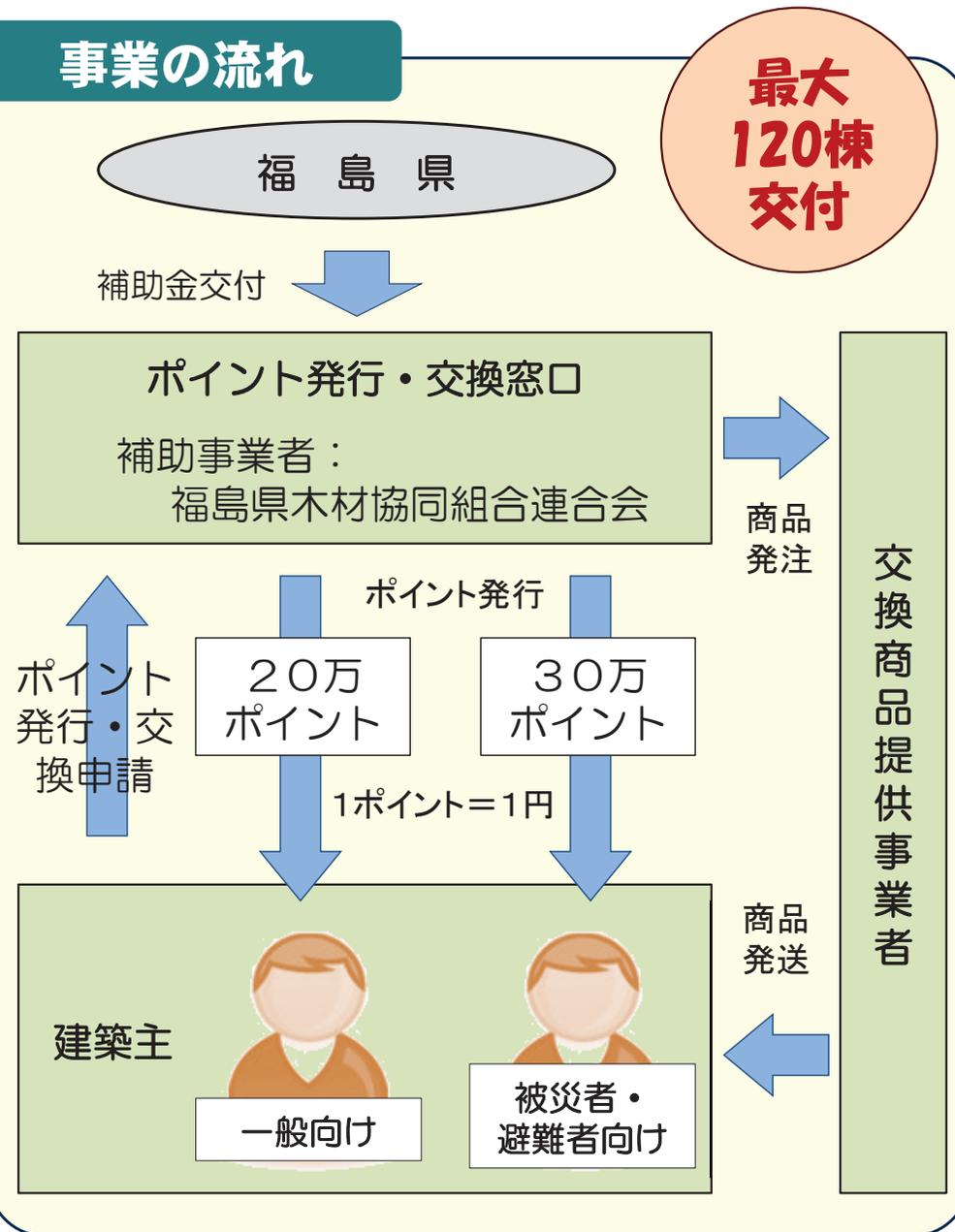


新築住宅



主要構造材に県産木材を使用

事業の流れ



【年間スケジュール】

実施時期	実施内容
H26.4.1	補助事業者「福島県木材協同組合連合会」とポイント交換業務に係る協定を締結
H26.4.10 ～ H26.5.30	交換商品提供事業者の募集
H26.6	交換商品提供事業者の登録・公表
H26.7.1 ～ H27.2.27	ポイント発行・交換申請の受付
	※7/30現在の申請件数＝4件 昨年度は1/20に予算に到達(全105棟)



◆昨年度からの変更点

① 交換商品を提供する県内事業者の募集・登録

- ・ 県産品（食料品／木材製品／工芸品 等） 13事業者（361品）
- ・ 商品券（全国型／地域型） 10事業者（137品）

② 県産品との交換割合を、交付ポイント全体の50%以上に設定

約500品の
県産品等を登録



◆広報・PR活動（実績）

- ① 活字媒体：チラシ配布（県内スーパー、郵便局復興応援コーナー等）、新聞広報（民報・民友:7月掲載）
- ② 電波媒体：ラジオ放送（ふくしまFM「ヒタスマイル」:7月放送）、テレビ放送（県広報CM:8月放送予定）
- ③ 電子媒体：県ホームページ、県公式フェイスブック、ふくしまの家情報ネットワーク配信
- ④ その他：各種会議、講習会等における事業説明

『 ふくしま木の家・担い手応援事業 』

取組みの目的

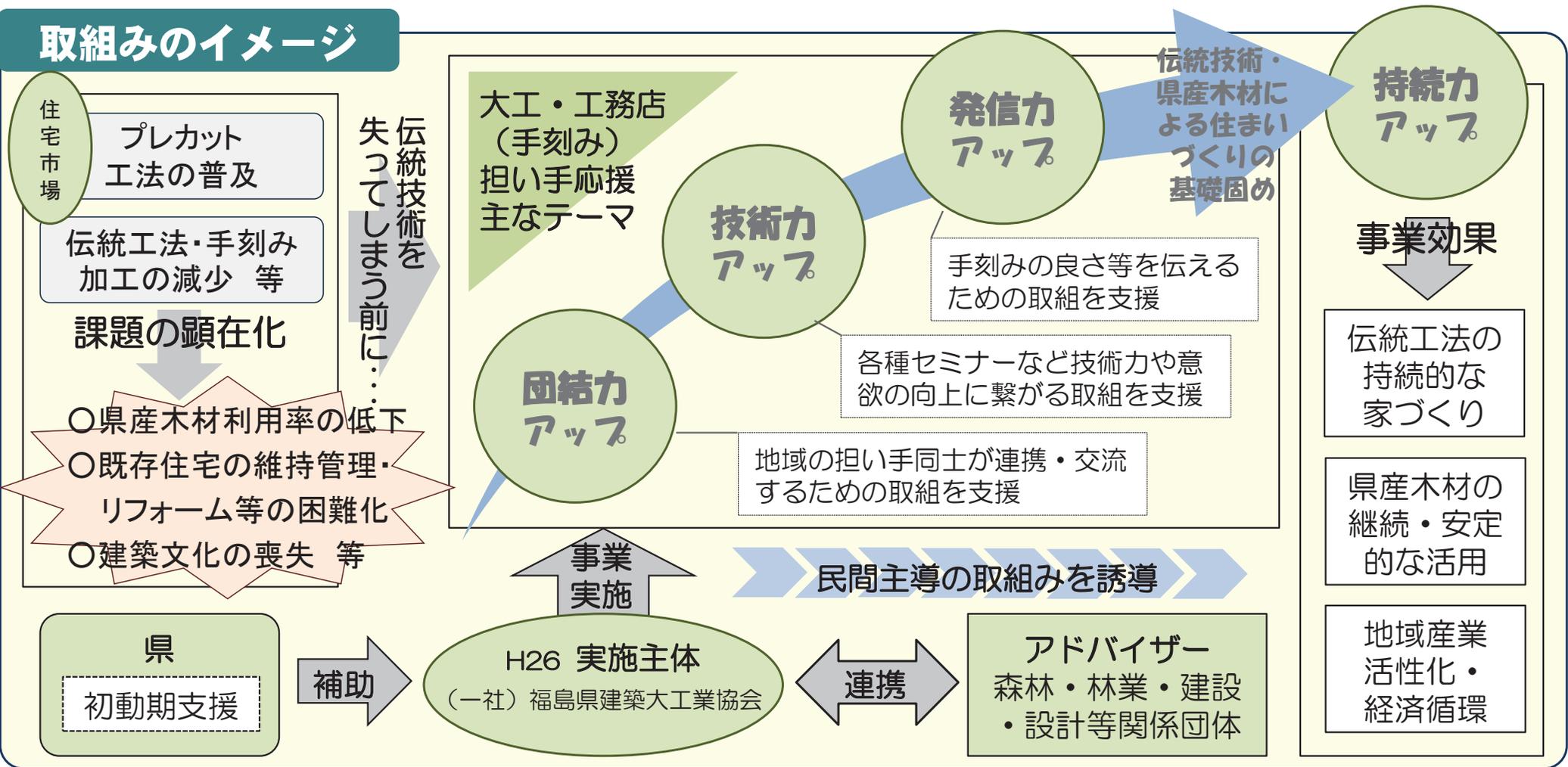
県産木材を活かした家づくりの担い手である県内大工・工務店等の取組みを支援し、良質な木造住宅を持続的に建設するための環境づくりを進めます。

取組みの内容

大工・工務店等の担い手のネットワークづくり、技術力の向上、発信力の強化など、県産木材による家づくりの基礎を成す活動費用を補助します。

取組みのイメージ

(3 - 16)



住宅市場
プレカット
工法の普及

伝統工法・手刻み
加工の減少 等

課題の顕在化

- 県産木材利用率の低下
- 既存住宅の維持管理・リフォーム等の困難化
- 建築文化の喪失 等

伝統技術を失ってしまう前に...

大工・工務店
(手刻み)
担い手応援
主要テーマ

技術力
アップ

発信力
アップ

手刻みの良さ等を伝える
ための取組を支援

各種セミナーなど技術力や意
欲の向上に繋がる取組を支援

地域の担い手同士が連携・交流
するための取組を支援

団結力
アップ

事業
実施

民間主導の取組みを誘導

県

初動期支援

補助

H26 実施主体

(一社) 福島県建築大工業協会

連携

アドバイザー

森林・林業・建設
・設計等関係団体

持続力
アップ

事業効果

伝統工法の
持続的な
家づくり

県産木材の
継続・安定
的な活用

地域産業
活性化・
経済循環

伝統技術・
県産木材に
よる住まい
づくりの
基礎固め

【年間スケジュール】

実施時期	実施内容
H26.4.21 ～ H26.5.30	補助事業者の募集
H26.6.9	補助事業者を選定するための補助事業者評価委員会の開催 「一般社団法人福島県建築大工業協会」を選定
H26.6.30	補助金交付決定
H26.7 ～ H27.3	事業の実施



(3 - 17)

(一社) 福島県建築大工業協会
「青年部」を中心として、
県内全域で事業を展開

